

京極運輸商事株式会社

証券コード：9073

第82期

報告書

2021年4月1日▶2022年3月31日



代表取締役社長 坂井 文明

株主の皆さまへ

株主の皆さまには平素よりお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、6月29日開催の第82回定時株主総会及び取締役会におきまして代表取締役に選任され就任いたしました。今後は、微力ながら社業発展のため、最善の努力を尽くしてまいり所存でございます。

当社は、2022年3月31日をもって第82期決算を終了いたしましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

■ 当期業績について

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス新規感染者の増加と世界的な半導体不足等により停滞状態が続きましたが、下期に入り、ワクチン接種の進展により経済活動が正常化方向に進み、緩やかな回復基調となりました。しかし、オミクロン株の感染流行や、ロシアのウクライナ侵攻に伴う世界的なエネルギー・資源の高騰、米国FRBの金融政策の影響による株価の下落等、再び経済の先行きが見通せない状況となりました。

物流業界におきましては、原油価格の上昇に伴う燃料費の高騰、慢性的なドライバー不足、コロナ禍における荷動きの停滞等、厳しい経営環境が続いております。

当社におきましては、2019年度を初年度とする4ヶ年中期経営計画を達成すべく様々な経営努力を続けてまいりました。最終年度となる2022年度は、長らく経済停滞の影響により非常に厳しい状況が予想されますが、計画の達成に向け、引き続き営業力の強化、人材育成、車両投資、業務効率化に努めてまいります。

「認定通関業者」の認定につきましては、本年2月に税関より認定を受け、法令遵守はもとより付与されたベネフィットを活かした適正・迅速な通関業務を実施し、営業戦略及び業務効率化に活用してまいります。

部門別売上高を前期と比較しますと、貨物自動車運送事業及び貨物運送取扱事業部門は、新規顧客の獲得や前期のコロナ禍から回復したこと等により、前期比2億6千9百万円の増収となりました。倉庫業部門は、

コロナ禍により輸出入貨物取扱い量は減少したものの、危険物の取扱い量及び荷役作業量が増加し、前期比3千1百万円の増収となりました。港湾運送業及び通関業部門は、輸出入貨物の停滞、外国貿易船の減便・遅延等による貨物取扱い量の減少により、前期比4千1百万円の減収となりました。ドラム缶等容器販売部門は、新缶価格の値上げ及び配送数量増により、前期比9千5百万円の増収となりました。

この結果、全部門の売上高は前期比3億5千4百万円増の62億4千5百万円となりました。

損益につきましては、燃料価格の高騰及びコロナ禍における物流及び経済の停滞もありましたが、価格改定や新規業務獲得等による収益の改善が大きく影響し、営業利益は前期比1千2百万円増の8千7百万円、経常利益は前期比1千3百万円増の1億1千7百万円となり、また当期純利益は、前期比1千3百万円増の9千6百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス

の新規感染者数は緩やかな減少傾向にあり、経済活動の自粛も緩和され、国内経済回復への期待感もありますが、ウクライナ情勢及び急激な円安の状況次第では経済に影響を及ぼすことも考えられます。業務効率化による経費削減及び安全対策を徹底し、競争力のある企業体質や健全な財務体質の更なる強化に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

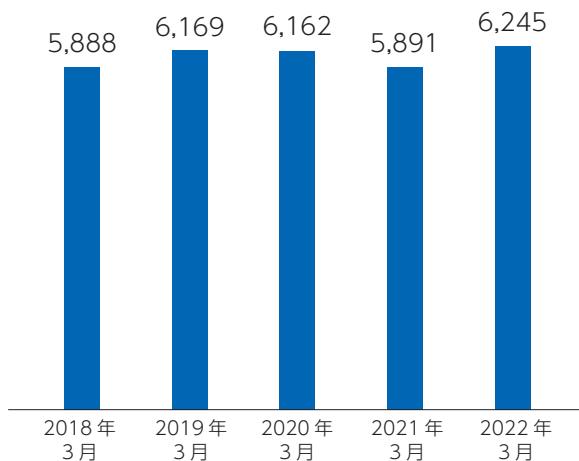
■ 中期経営計画

4ヶ年中期経営計画におきましては、2019年度を初年度とし3年目を終了いたしました。

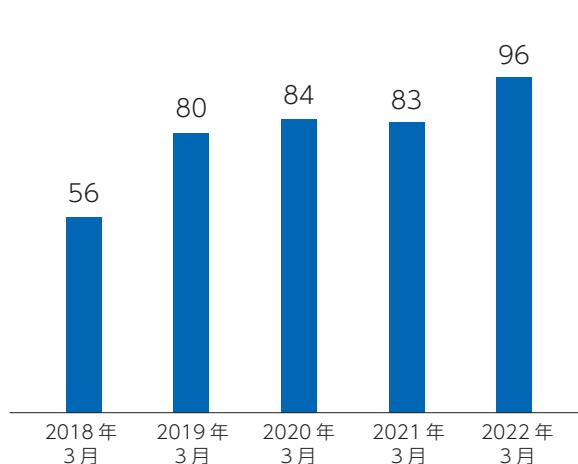
現在の進捗状況は、新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限が長期に亘り、国内外の経済停滞の影響から売上高で計画比2億8千6百万円の未達、経常利益で計画比3千9百万円の未達となりました。

計画最終年度である2022年度は、継続的な営業活動を展開し、最終目標の達成に向けて邁進いたします。また、2023年度からスタートする「第2次中期経営計画」は、企業が求められるESG（環境・社会・ガバナンス）やSDGs（持続可能な開発目標）に貢献できる事業拡大のための投資を最優先に検討を進めており、当社の将来ビジョンを明確にした中期経営計画を公表する予定です。

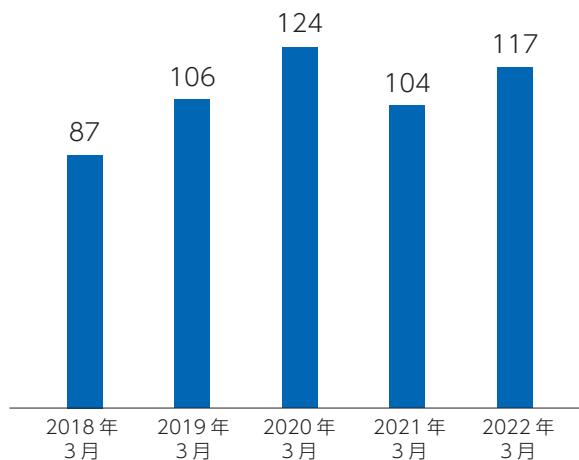
■ 売上高 (単位：百万円)



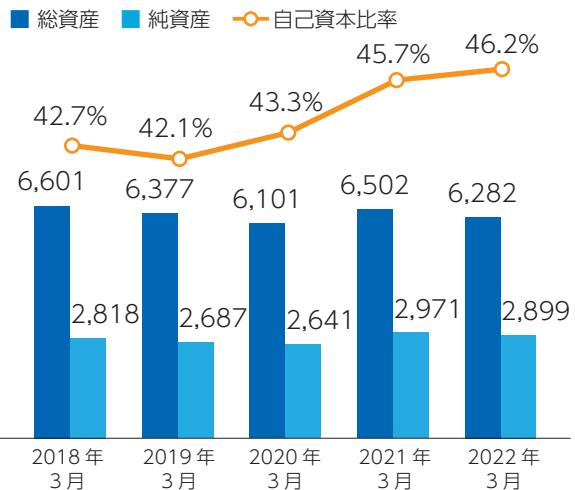
■ 当期純利益 (単位：百万円)



■ 経常利益 (単位：百万円)



■ 総資産/純資産/自己資本比率 (単位：百万円)



損益及び利益計算書

(単位：百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	2021年4月1日～ 2022年3月31日	2020年4月1日～ 2021年3月31日
売上高	6,245	5,891
売上原価	5,686	5,348
売上総利益	558	542
販売費及び一般管理費	471	467
営業利益	87	75
営業外収益	50	56
営業外費用	20	27
経常利益	117	104
特別利益	80	14
特別損失	59	—
税引前当期純利益	138	118
法人税等	42	35
当期純利益	96	83

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	2022年3月31日現在	2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	1,945	1,782
固定資産	4,337	4,720
有形固定資産	2,784	2,976
無形固定資産	130	170
投資その他の資産	1,423	1,575
資産	6,282	6,502
負債の部		
流動負債	2,092	2,019
固定負債	1,291	1,512
負債合計	3,383	3,531
純資産の部		
株主資本	2,574	2,502
評価・換算差額等	326	469
純資産	2,899	2,971
負債純資産	6,282	6,502

AEO（認定通関業者）を取得しました

当社は、かねてより進めてまいりましたAEO事業者（認定通関業者）の認定を、2022年2月25日に取得いたしました。

AEO制度とは、貨物のセキュリティ管理と法令遵守（コンプライアンス）の体制が整備された事業者に対し、税関が承認・認定し、税関手続の緩和・簡素化策を提供する制度です。

2001年9月11日、米国で発生した同時多発テロ以降、国際物流においてはセキュリティの確保と円滑化の両立が不可欠となっております。このような流れを受けWCO（世界税関機構）において、セキュリティ管理と法令遵守の体制が整備された事業者を税関が認定し、税関手続の簡素化等のベネフィットを与える「AEO（Authorized Economic Operator）制度」の概念を含む国際的な枠組み（「基準の枠組み」）が2005年に採択されました。

現在、世界90以上の国・地域において導入されており、日本では2006年3月に導入されました。

今後は港運業務システムを活用した業務の適正化・効率化を図り、認定通関業者としてコンプライアンスを重視した安全管理体制の確立により、一層のサービス向上に取り組んでまいります。



会社概要

本店 東京都中央区日本橋浜町一丁目2番1号

創業 明治24年10月15日

設立 昭和22年5月12日

資本金 1億6千万円

従業員 246名

支店所在地

京葉支店 千葉県市原市八幡北町三丁目7番10号 0436 (41) 7712

川崎支店 神奈川県川崎市川崎区浮島町12番6号 044 (276) 1020

京浜支店 神奈川県川崎市川崎区鋼管通四丁目17番2号 044 (322) 2672

事業所所在地

蔵王事業所 宮城県白石市福岡深谷字街道外三番138番4号 0224 (25) 6680

白井事業所 千葉県白井市中434番19号 047 (498) 2601

富士事業所 静岡県富士宮市内房4386番1号 0544 (65) 2311

倉敷事業所 岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8234番20号 086 (525) 1381

グループ会社

- 株式会社TSトランスポート
- 京極石油株式会社
- 日本タンクサービス株式会社

株主優待のご案内

基準日（毎年9月30日）時点の当社の株主名簿に記載又は記録された1単元株以上を、1年以上継続して保有いただいている株主様を対象に、当社オリジナルQUOカード（1,000円相当）を贈呈致します。

「1年以上継続して保有」とは、基準日の9月30日現在の株主名簿に記載又は記録され、かつ基準日前年の9月30日、以降12月31日、3月31日、及び6月30日現在の株主名簿に、同一の株主番号で連続して5回以上記録された場合と致します。また、上記以外に臨時に株主名簿を確定させた場合、当該株主名簿への記載も必要となります。

取締役及び監査役

代表取締役社長 坂井 文明

代表取締役常務 富田 和宏

常務取締役 立岩 敦

常務取締役 羽入田 清隆

取締役 鈴木 秀樹

取締役 吉田 長司

取締役 深澤 晶久

常勤監査役 児玉 達也

監査役 市川 静代

監査役 額額 良二

- (注) 1. 取締役のうち深澤晶久氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち市川静代氏及び額額良二氏は社外監査役であります。

ホームページのご案内

<http://www.kyogoku.co.jp/>

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業内容やIR情報などを適時、掲載しています。



トップページ

株式の状況

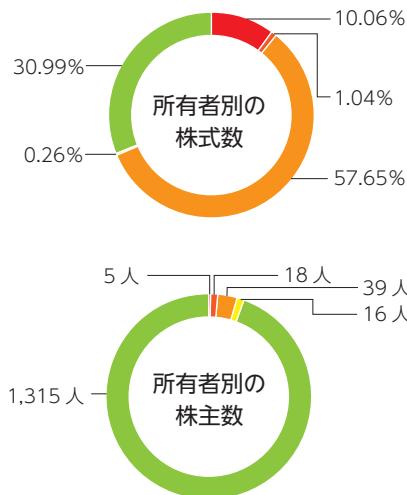
発行可能株式総数 12,000,000株
 発行済株式の総数 3,200,000株 (自己株式142,055株を含む。)
 株主数 1,393名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
ENEOSホールディングス株式会社	977,271株	31.96%
明治安田生命保険相互会社	160,000株	5.23%
西 将弘	160,000株	5.23%
京北倉庫株式会社	156,583株	5.12%
京極 紳	153,000株	5.00%
三菱UFJ信託銀行株式会社	148,000株	4.84%
高橋産業株式会社	107,639株	3.52%
神奈川三菱ふそう自動車販売株式会社	101,000株	3.30%
株式会社タンクテック	74,000株	2.42%
いすゞ自動車首都圏株式会社	70,000株	2.29%

(注) 持株比率は、自己株式 (142,055株) を控除して計算しております。

株式分布状況

■ 金融機関
 ■ 金融商品取引業者
 ■ その他の法人
 ■ 外国法人等 (個人以外)
 ■ 個人その他



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領 株主確定日	3月31日及び中間配当金の支払を行うときは9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	東京都において発行する日本経済新聞決算 公告に代えて、貸借対照表の開示は、当社 ホームページに掲載しております。

【株式に関するお手続きについて】

○特別口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	株主名簿 管理人	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定 (※)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

(※) 特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	株主名簿 管理人	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町1-2-1
 H F 日本橋浜町ビルディング4階
 TEL : 03 (5825) 7131 FAX : 03 (5825) 7169
<http://www.kyogoku.co.jp/>